

日本臨床細胞学会九州連合会雑誌電子投稿規程

令和元年6月を持って全投稿を電子査読システムで行う。

1. 資格：原則として投稿者は日本臨床細胞学会会員に限る。
2. 本誌の論文の種別は原著、症例報告、総説（特別講演・教育講演・シンポジウム等）、短報（スライドカンファレンス等）である。投稿論文は日本臨床細胞学会九州連合会の進歩に寄与するもので、他誌に発表されてないものに限る。
3. 論文作成に際しては、プライバシー保護の観点も含め、ヘルシンキ宣言（ヒトにおける biomedical 研究に携わる医師のための勧告）ならびに臨床研究に関する倫理指針（厚生労働省（平成15年7月30日、平成16年12月28日全部改正、平成20年7月31日全部改正、令和3年3月全部改定）が遵守されていること。
4. 本誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属する。
5. カバーレターを添付すること。その様式は問わないうが、筆頭著者名・責任著者名ならびに両名のEメールアドレスを明記すること。
6. 論文投稿に際し、著者全員の利益相反自己申告書を添付すること。なお、申告書の内容は論文末尾、文献の直後の場所に記される。規定された利益相反状態がない場合は、同部分に、「著者らは、開示すべき利益相反状態はありません。」などの文言を入れる。

7. 執筆要項

用語：和文または英文とする。

著者：著者名は直接研究に携わった者のみに限定する。

共著者数は原則として10名以内とする。

以外の関係者は謝辞として表記されたい。

① 原稿の書き方

- a) 原稿は原則として横書き A4判800字詰（32文字×25行、12ポイント程度）とする。欧文はすべて半角とし、本文中の数字は、1桁数字は全角、2桁以上は半角とする。
- b) 度量衡単位は cm, mm, μ m, cm^2 , m ℓ , ℓ , g, mg, など CGS 単位を用いる。
- c) 外国人名、適当な和名のない薬品名、器具および機械名、また疾患名、学術的表現、科学用語については原語を用いる。大文字は固有名詞およびドイツ語の名詞の頭文字に限る。
- d) 医学用語は原則として日本臨床細胞学会編集の「細胞診用語解説集」に準拠すること。また、その略語を用いても良いが、はじめに完全な用語を書き、

以下に略語を用いることを明らかにする。

- e) 患者を特定できる情報（受診日、手術日、生検日等の詳細な日付）の表記を避ける。

② 原稿の構成

- a) 総説（特別講演、教育講演等）、原著、症例報告：原稿の構成は、和文の題名、所属、著者名及び責任著者名（筆頭著者でも可）、索引用語、内容抄録、本文、英文抄録、参考文献、写真、図、表の順とする。
- b) 短報（スライドカンファレンス）：原稿の構成は、和文の題名、所属、出題者名（筆頭著者でも可）、症例番号、患者年齢、性別、検査材料、臨床経過、細胞所見および細胞学的診断、組織所見および組織学的診断、出題のポイント、参考文献、写真の順とする。
- c) シンポジウム発表演題は原著、症例報告、総説の中から該当するものに準じて作成する。
また、学術集会プログラムで簡単な抄録として掲載されたものを除く。

③ 原稿の様式

- a) 原稿には通し頁番号をふる。1枚目には和文の題名、所属、著者名を記載する。2枚目には英文で上記の題名（短報では不要）、所属、著者名及び責任著者名（筆頭著者でも可）、資格（短報では不要）を記載する。責任著者が著者以外の場合は責任著者の氏名、所属、送り先を記載する。資格としては、医師：MD, MD, MIAC, MD, FIAC, 歯科医師は DDS とし、それ以外の称号あるいは資格は医師と同様に付記する。臨床検査技師：MT, CT, JSC, CT, IAC, CT, CMIAC, CT, CFIAC と付記する。3枚目より本文を始める。英文原稿に関しては日本臨床細胞学会投稿規程の英文執筆要項に準ずる。資格に関しての略字は下記の如くである。

- MD (Medical Doctor)
- MD, MIAC (Medical Doctor, Member of International Academy of Cytology)
- MD, FIAC (Medical Doctor, Fellow of International Academy of Cytology)
- DDS (Doctor of Dental Surgery)
- MT (Medical Technologist)
- CT, JSC (Cytotechnologist of Japanese Society of Clinical Cytology)
- CT, IAC (Cytotechnologist of International Academy of Cytology)
- CT, CFIAC (Cytotechnologist of Fellow International Academy of Cytology)
- b) 索引用語 (Key words) 論文の内容に関係する英語の単語を5語以内で表示する。
- 例) clear cell adenocarcinoma, cytology, sputum, metastasis, case report

c) 内容抄録：

以下のような小見出しをつける。

総説：論文の内容に応じて適宜設定

原著：目的，方法，成績，結語

症例報告：背景，症例，結語

d) 文献：主要なもの20編以内に限る。次の形式をま
り，引用順に並べる。文献表記はバンクーバー・
スタイルに，誌名略記は日本医学図書館協会編：日
本医学雑誌略名表およびIndex Medicusに準ずる。

(雑誌の場合)

著者名(和名はフルネームで，欧文名は姓のみをフ
ルスペル，その他はイニシャルのみで3名をこえる
場合はその後を“・他”，“et al”と略記する)。

標題(フルタイトルを記載)。雑誌名 発行年(西
暦)；巻：頁-頁。

例) 藤○武○，大○英○，末○義○・他. 子宮内膜
間質肉腫の一例. 日臨細胞誌 2005; 38:
401-404.

例) Kashimura M, Ogino K, Sawada S, et al.
Comparative fine needle aspiration and pathologic
study of mesothelioma: cytodiagnostic features of 95
tumors in 71 patients. Acta Cytol 2006; 44: 27-35.

(単行本の場合)

著者名，標題，発行地：発行所，発行年(西暦)。な
お，引用が単行本の一部である場合には標題の次に
編者名，単行本の標題を記し，発行年の後に：頁-
頁を記載する。

例) 柏○正○，良性疾患の細胞診 土○真○監修
カラーアトラス乳腺細胞診，東京：医○化○社，
2000: 106-109.

例) Chang KL, Young RE. Atlas of tumor pathology:
Tumors of the ovary, fallopian tube, and broad ligament.
Washington: Armed Forces Institute of
Pathology, 1998: 132-136.

文献は文末に肩番号としていれ句読点(.)をつ
ける。

例) 認められる¹⁷⁾.

e) 英文抄録(Summary) 本文とは別紙(A4サイズ)
に，ダブルスペースで印刷する。書式は日本語の内
容抄録に準ずる。

f) 光顕写真は原則としてカラー写真で，ファイル形
式はJPEGもしくはTIFFに限り，300dpi以上とす
る。

g) 写真，図，表は写真1，図1，表1，などのよう
にそれぞれ番号をつけ，簡単なタイトルと説明を付
記する。光顕画像には倍率を付記する。その際の倍
率は撮影時の対物レンズの倍率を用いる。電顕画像
については撮影時の倍率を表示するか，または画像
にスケールを入れる。写真には患者を特定できるよ
うな情報が含まれてはならない。

④ 枚数制限

a) 総説(特別講演・教育講演等)，原著，症例報告：

本文，文献を含め原則として10,000字以内(A4判13
頁)とする。内容抄録は500字以内とする。図表は
あわせて10枚以内とする。写真の枚数に制限はない。

b) 短報(スライドカンファレンス)：本文は原則と
して1,000字以内とする。写真は6枚以内とする。

8. 投稿者は，投稿システムより原稿をアップロードす
る。

その際，以下の電子ファイル形式を推奨する。

カバーレター：PDF

本文：PDF

図・表：PDF

写真：JPG, TIFF

なお，投稿ファイル数は原則として25個以内とする。

9. 論文の審査：投稿論文は編集会議での審査により採
否を決定する。審査にあたっては査読制をとる。原稿
の組体裁，割付は編集会議に一任する。

10. 査読校正後の原稿も，投稿システムよりアップロー
ドする。

11. 投稿後の著者校正は間違いを訂正する程度とし，原
稿にない加筆や訂正は行えない。

12. 別冊を希望するときは，著者校正時に部数を明記し
て申し込む。その際，50部で2万円とし，それ以上は
50部ごとに1万円加算する。

13. 本規程の改定：投稿規程は改訂がある。

(令和7年7月一部改訂)

日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 投稿チェック表

原稿が日本臨床細胞学会九州連合会雑誌の投稿規程に沿ったものであるかを本チェック表にて確認した上で、電子投稿してください。本チェック表の添付は不要です。

- 1・共著者数は10名までですか
- 2・称号あるいは資格について
 - ・医師は MD あるいは MD, MIAC あるいは MD, FIAC となっていますか
 - ・歯科医師は DDS (それ以外の称号あるいは資格は医師と同様) となっていますか
 - ・臨床検査技師は MT あるいは CT, JSC あるいは CT, IAC あるいは CT, CMIAC あるいは CT, CFIAC となっていますか
- 3・筆頭著者名・責任著者名ならびに両名のEメールアドレスが明記されたカバーレターはありますか
- 4・枚数制限について (特別講演・教育講演・原著論文を投稿頂く先生方へ)
 - ・本文・文献を含め10,000字以内 (A4判 13頁) ですか
 - ・図表 (写真含まず) は10枚以内ですか
 - ・写真は枚数制限ありません
(スライドカンファレンス (短報) 出題者の先生方へ)
 - ・スライドカンファレンスの本文は1,000字以内ですか
 - ・スライドカンファレンスの写真は 6 枚以内ですか
- 5・英文タイトルおよび英文での著者、共著者、施設名はありますか
- 6・内容抄録
 - ・全文字数は500字以内で、以下のような小見出しをつけていますか
 - ・原著では目的、方法、成績、結語
 - ・症例報告では背景、症例、結語
 - ・総説では論文の内容に応じて適宜設定
 - ・短報では「内容抄録」は不要。文中の小見出しほは、症例、検体材料、臨床経過、細胞所見および細胞学的診断、組織所見および組織学的診断、出題のポイント
- 7・Key Words (英語、5つ以内) はありますか
- 8・論文の研究内容はヘルシンキ宣言 (ヒトを対象とした生物医学研究に携わる医師のための勧告) を遵守していますか (詳しくは日本臨床細胞学会雑誌を参照して下さい)
- 9・参考文献は、投稿規定に則った書式でかかれていますか
- 10・個人情報の保護に関する十分な配慮がなされていますか
- 11・遺伝子解析などに関しては倫理指針に沿って実行されていますか
- 12・写真、図、表について
 - ・複数ある場合、日本語で表記する。例) 写真1, 写真2…
 - ・写真、図、表にはタイトルおよび必要に応じて説明がついていますか
 - ・光顕写真 (細胞像、組織像) の倍率は撮影時の対物レンズ倍率を用いていますか
 - ・電顕写真は撮影時の倍率を表示するか、写真にスケールを入れてありますか
- 13・Summary (英文抄録) はありますか
 - ・短報では「Summary (英文抄録)」は不要
- 14・投稿ファイル数は25個以内ですか
- 15・細胞診専門医もしくは責任著者 (correspondent author) のチェックは受けましたか